

二二八五番

秋萩あきはぎの 花野はなののすすき 穂ほには出いでず 我あが恋こひ  
渡わたる 隠こもり妻つまはも

二二八六番

我わがやどに 咲さきし秋萩あきはぎ 散ちり過すぎて 実みになる  
までに 君きみに逢あはぬかも

二二八七番

我わがやどの 萩はぎ咲さきにけり 散ちらぬ間まに はや来き  
て見みべし 奈良ならの里人さとびと

二二八八番

石橋いははしの 間々ままに生おいたる かほ花ほなの 花はなにしあり  
けり ありつつ見みれば